

技術・家庭科 1年間の学習と評価について

春日部市立豊春中学校

1. 学習目標

この教科の目標は、生活に必要な基礎的・基本的な知識や技術の習得を通して、進んで生活を工夫し想像する能力と実践的な態度を身につけることです。そのためには、私たちの生活の場をよく考え、よりよくしていこうとするとところからこの学習がはじまります。変化を続ける社会の中で、よりよく充実した生活を送ることができるとしたら素晴らしいと思いませんか？技術・家庭科の授業ではそのために必要な知識や技術を、体験や実践を通して学習していきます。学習をより充実したものにするためには、自分にとっての新しい発見があることで自らの生活へのやる気やこんなことをしたいという「おもしろい」が高まります。授業の中でも、自らの生活の中での経験をいかしたアイデアや工夫を加えることで、よい作品や発表ができます。

2. 年間の授業計画と学習のねらい

	技術分野	家庭分野
1 学 年	<p>「ガイダンス～3年間の学習の見通し～」</p> <p>「材料と加工に関する技術」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構想図（等角図、第三角法による正投影図）が描けるようにしよう ・材料に合った加工ができるようにしよう ・工具の使い方を知り、組み立てや仕上げができるようにしよう 	<p>「ガイダンス～3年間の学習の見通し～」</p> <p>「これからの衣生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服のはたらきと伝統的な衣服について知ろう ・T.P.O.に合った衣服の選択や自分らしく活用できるようになろう ・日常着の手入れや補修の技能を身につけよう <p>「暮らしに役立つものづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住生活・衣生活で課題を見つけ、暮らしに役立つものをつくろう <p>「環境に配慮した生活」・地球にやさしく①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会のために衣生活を工夫しよう <p>「食生活の自立」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事が果たす役割や、健康と食事の関わりを理解しよう ・中学生に必要な栄養素の特徴を知ろう ・バランスのとれた一日分の献立を立てよう
2 学 年	<p>「エネルギー変換に関する技術」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動力伝達の基本的な動き方について学ぼう ・モータや電気機器のしくみを知ろう ・身近なエネルギーの変換方法を知ろう ・生活とエネルギーの関係を調べてみよう <p>「情報に関する技術」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのコンピュータについて知ろう ・情報モラルについて考えよう・情報ネットワークについて理解しよう ・情報化が社会や生活に及ぼす影響について考えよう ・双方向性コンテンツの仕組みを知ろう 	<p>「これからの食生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品を適切な選び方を考え購入しよう ・地域の食材や伝統・食文化を知ろう ・食生活の衛生と安全に留意して、日常食の調理ができるようになろう <p>「環境に配慮した生活」・地球にやさしく②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会のために食生活を見直そう <p>「家族・家庭生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長をふり返りながら家族や家庭生活について考えよう ・幼児の生活と心身の発達について理解しよう ・幼児の遊びの意義を考え、幼児の生活に役立つものを作りや幼児とふれあう体験をしよう ・家庭生活と地域のつながりを知り、地域の一員として自分にできることを考えよう
3 学 年	<p>「情報に関する技術」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータや情報手段と、生活や社会の関わりについて知ろう ・プログラミングによる計測・制御のしくみを知ろう ・メディア利用の特徴と利用方法を学習し、製作品をつくろう ・多様なメディアの複合により、作成したものを発信、活用してみよう <p>「生物育成に関する技術」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な植物の栽培方法を知ろう ・小松菜の栽培を通して栽培と生活の関係を知ろう <p>「まとめ～3学年間の学習の振り返り～」</p>	<p>「快適な住生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族が住まう空間としての住居の機能を知ろう ・安全で快適な住まい方の工夫を考え実践しよう <p>「環境に配慮した生活」・地球にやさしく③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会のために共生できる住生活を考えよう <p>「身近な消費生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な情報収集と整理、購入計画を考えよう ・様々な販売方法の特徴や消費者保護について学習し、トラブルの解決方法を知ろう <p>「環境に配慮した生活」・地球にやさしく④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した消費生活を目指そう <p>「まとめ～3学年間の学習の振り返り～」</p>

3. 評価の観点と方法

		技術分野	家庭分野
態度	関心意欲	生活や技術に関心をもっているか、生活をよりよくしようと進んで実践しようとしているか、学習した知識・技術を生活に生かそうとしているかについての評価をします。 (提出物・活動の様子など)	
思考 判断 表現	創意工夫する能力	自分の生活について見直し、課題を見つけその解決を目指していろいろな方法を試したり、工夫したり、自分なりの方法をかんがえたりつくり出そうとしているかについての評価をします。 (ワークシート・作品など)	
知識 技能	生活の技能	生活に必要な基礎的な技術を身につけているかを評価します。 (実習中の技能・作品・実技テストなど)	
	知識・理解	生活や技術に関する基礎的な事柄や生活と技術について関わりについて理解し、知識を身につけているかを評価します。 (作品・定期テスト・小テスト・ワークシートなど)	